

ほつと、ひとこと。

信じる前に確認を 小倉南区で急増する特殊詐欺事件

知らない相手からの儲け話や投資話を安易に信じない

金銭や暗号資産の送金を求められてもすぐに応じない

迷ったときは家族や信頼できる人に相談する

◎近年、特殊詐欺は全国的に増加しており、高齢者だけでなく幅広い世代が被害に遭う危険があります。福岡県内でも被害額は高額化しており、巧妙な手口が後を絶ちません。小倉南区でも昨年、SNSや電話を通じた詐欺被害が報告されています。例えば、67歳の女性がSNSで知り合った人物から暗号資産の投資を勧められ、約8,750万円をだまし取られた事例がありました。また、80歳の男性が投資アナリストを名乗る人物に誘導され約2,200万円を送金した事例、37歳の女性が警察官を装う人物の指示により約1,036万円相当の暗号資産を送付した事例も発生しています。これらはいずれも、巧妙な手口によって信用させられてしまった詐欺被害の事例です。詐欺は電話やSNS、インターネット広告など身近な場面で仕掛けられます。相手が有名人や公的機関を名乗るケースもあり、信じてしまうことが少なくありません。不審な連絡や被害の兆候を感じた場合は、迷わずに相談してください。

資産の話は一人ひとりが不信感をもち、地域の声がかけて、詐欺から守るまちへ。

北九州市では、消費生活センターや警察署と連携し、出前講座や広報活動を通じて地域での注意喚起に努めています。

市立消費生活センター
小倉南相談窓口

☎093-951-3610

小倉南警察署
生活安全課

☎093-923-0110

お知らせ

小倉南区へ出かけよう!

ゴールデンウィークは、平尾台などで楽しめる様々なイベントが予定されています。家族や友人とぜひ出かけください! 小倉南区の生活情報やイベント情報は北九州市のHPからチェックできます。



北九州市政に関するご意見・ご要望、身近な問題・課題などお聞かせください。

いずみひでお 事務所

〒802-0979 北九州市小倉南区徳力新町1-27-23-101

E-mail 123hideo0104@gmail.com

TEL 093-967-6615

FAX 093-967-6698

いずみひでおのホームページ

https://izumi-hideo.com



FaceBookにも日々の活動を更新中!

https://www.facebook.com/izumi.hideo



北九州市議会議員
いずみひでお
市政報告
mirai

Vol.12

発行：2026年3月

この市政報告は政務活動費で作成しています。

●1968年1月4日生まれ●広徳小・広徳中・小倉工業高校・九州国際大学卒業●福岡県立豊津高校(現:育徳館高校)社会科講師を経て中小企業アドバイザーとして勤務●福岡県議会議員を2期8年●国民民主党福岡県連 幹事長●西南方東町内会長●徳力校区自治連合会 副会長●保護司 その他兼任



みらいへ、つなぐ、つながる。

北九州市議会議員

いずみひでお 市政報告

HIDEO IZUMI, Kitakyushu Municipal Administration Report

Vol.12

皆さまの声が、街の力となる

◎春の陽気が心地よい季節となりました。日頃から小倉南区、そして北九州市のまちづくりや私の活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。令和8年度(2026年度)の一般会計予算は、過去最大となる約6,477億円となりました。教育や子育て支援、地域経済の活性化、まちづくりなど、市民生活に身近な分野に重点を置いた予算となっています。特に、子どもや若い世代が安心して暮らせる環境づくりや、安全で快適なまちづくりを強化しています。市民の皆さまに楽しんでいただけるイベントも増えています。「北九州市誕生マンス」や「Action!Fes」では、地域の魅力を再発見する機会となり、新しいつながりも生まれています。こうした取り組みを通して、皆さまの声や意見が街づくりに活かされています。

◎また、行政サービスの利便性向上にも取り組んでいます。小倉北区役所ではAIによる電話対応の実証実験が進められ、手続きの円滑化が期待されています。観光面では「KITAKYUSHU OPEN TOP BUS」の運行が始まり、市内の主要スポットを気軽に巡ることができるようになります。人口面でも転入超過が2年連続で見込まれるなど、移住促進や企業誘致の取り組みが進んでいます。北九州移住促進協議会による住宅支援や通勤サポートなどにより、子育て世代や若い世代が暮らしやすいまちづくりが進められています。街なかでは春の花々が彩りを添えています。雑草対策の一環として、チューリップやガザニアなど、約1,100株が市内各地に咲き、散歩やお出かけを楽しむことができるようになりました。さらに、響灘洋上風力発電所(220MW)の稼働により再生可能エネルギーの活用も進み、持続可能なまちづくりへの一歩となっています。企業や大学と連携した「北九州イノベーションゲート」による新しい技術やビジネスの創出も進められています。

◎これからも、市民の声を大切にしながら、安心して豊か、そして元気な北九州市を皆さまとともにつくっていきたくと考えています。どんな小さなことでも構いません。気になることやアイデアがあれば、ぜひお気軽に声をかけてください。皆さまの声が、街をよりよくする力になります。

いずみひでお





市議会報告

北九州市議会は、令和8年(2026年)2月定例会が2月19日から3月25日まで開催されました。会期中は、市政全般に関わる議案や条例案、そして令和8年度予算案など、市民生活に直結する重要な施策について議論が行われました。今年も過去最大規模となる一般会計予算案が審議され、多くの関心が寄せられました。私は今回、予算特別委員会の委員長に就任し、市民生活に必要な施策や財政運営の適正について議論を重ね、予算案の審議を取りまとめました。また、定例会では代表質疑や一般質疑が行われ、議員が市政運営に関する意見や提案を交わしました。

私は一般質疑で

- 中小企業の賃上げ支援
 - 小中学校のスクールサポートスタッフ(SSS)の活用と教職員の退職回避
 - 自転車通行の規制強化
- について取り上げ、市民生活に直結する課題を質疑しました。

議会はどなたでも傍聴できます。また、議会中継や会議録検索によりインターネットからも確認できますので、「市政が自分の生活にどう関わっているのか」を身近に感じていただければと思います。詳しい日程や議案内容は、北九州市議会ホームページをご覧ください。

北九州市
MIRAIのカタチ①
中小企業の賃上げ支援について

地域経済を支える中小企業を力強く応援する街に!

物価高の中、中小企業では賃上げの必要性を感じながらも、
原材料費や人手不足で踏み切れない声が多くあります。
本市では補助制度を整備していますが、
まずは現場が賃上げできる余力をつくる支援が大切だと
考えていますが見解をお聞かせください。

令和8年2月定例会一般質疑にて

市内企業の99%を占める中小企業の賃上げは、働く方の所得向上だけでなく、地域の消費拡大や人材確保にもつながる重要課題です。一方、近年は人手不足や物価高騰で厳しい経営環境に置かれています。継続的な賃上げには、企業が「稼ぐ力」を高め賃上げ原資を確保することが不可欠です。本市では、適正な価格転嫁の促進や生産性向上支援助成金の創設、固定資産税軽減、専門家による伴走支援などに取り組んできました。さらに補正予算で助成制度拡充、社会保険労務士相談窓口の活用促進、企業訪問強化など支援体制を充実。今後も中小企業の「稼ぐ力」を基盤に、企業成長と所得向上の好循環を目指します。

北九州市の答弁に対するいずみひでおの意見と要望

- ◎中小企業の賃上げを進めるためには、支援制度をつくるだけでなく、その情報が必要としている事業者にしっかり届くことが重要です。そのため、制度の周知をさらに強化するとともに、相談しやすい窓口の整備や伴走型の支援体制を充実させ、現場の声に寄り添ったきめ細かな支援によって、中小企業が賃上げできる余力を生み出す取り組みを願います。

※「質疑」と「質問」は、議会において明確に区別される用語です。質疑は議題となっている特定の議案に対して疑問点をたずねる行為であり、質問は市政全般について行政の見解を問う行為です。

北九州市
MIRAIのカタチ②
小中学校のスクールサポートスタッフの活用と教職員の退職回避について

教職員が子どもたちとしっかり向き合える街に!

教員の長時間勤務や負担が増える中、
スクールサポートスタッフ(SSS)の活用が進んでいます。
教員が授業や児童・生徒指導に専念できるよう、
SSSの配置や活用状況、効果、
今後の課題について教えてください。

令和8年2月定例会一般質疑にて

[答弁] 北九州市では、教員が児童生徒への指導に注力できるよう、国の補助事業を活用してスクールサポートスタッフ(SSS)を全小中学校に配置し、令和6年度に完了しました。SSSは週30時間勤務で、印刷や配布物の仕分け、採点補助、電話・来客対応などの事務補助を中心に、学校規模や実情に応じた業務にも従事しています。令和7年5月の調査では、教材作成補助、校外学習引率補助、行事準備、小学校低学年の給食配膳補助など、教員の負担軽減につながる幅広い活動が確認されました。教員からは授業準備時間が確保できた、子どもと関わる時間が増えたとの声もあり、教育委員会は業務改善プログラムに事例を掲載し、SSSがチーム学校の一員として力を発揮できるよう周知していきます。

北九州市の答弁に対するいずみひでおの意見と要望

- ◎教職員の業務負担を軽減し、子どもたちと向き合う時間を確保するためには、スクールサポートスタッフの効果的な活用が重要です。あわせて、経験豊かな退職教員を積極的に活用する仕組みを整えるなど、学校現場を支える体制のさらなる充実が求められます。こうした取組は、教職員の離職防止にもつながるものと考えますので、効果的な対応を願います。

北九州市
MIRAIのカタチ③
自転車通行の規制強化について

安全な交通環境で安心して自転車通行ができる街に!

4月から16歳以上の自転車運転者に青切符制度が始まります。
子どもや高齢者、通勤・通学で
自転車を使う方々への周知は十分でしょうか。
また、北九州交通公園を使った体験型の
交通安全講習の実施についてもお聞かせください。

令和8年2月定例会一般質疑にて

[答弁] 自転車は経済的で環境に優しい交通手段として多くの人に利用されている一方、全国的に交通事故は減少傾向でも、自転車関連事故は横ばいで割合が増加しており、北九州市も同様です。このため本年4月から青切符制度を導入し、責任追及と事故抑止を図っています。市では通行ルールの周知・啓発に力を入れ、北九州交通公園では職員がコース走行者に指導し、令和6年度は来園者約20万人貸出自転車約11万台の利用がありました。また、交通安全教室や街頭啓発、リーフレット配布、ルール検定なども実施。青切符制度周知のため、ポスター掲示や市政だより・ホームページ掲載も行っています。今後は親子向け体験教室を実施し、大人向け教室も来年度試験的に開催予定で、安全な自転車利用環境づくりを進めます。

北九州市の答弁に対するいずみひでおの意見と要望

- ◎自転車通行の規制強化については、制度改正の内容がまだ十分に知られていない状況が見受けられます。特に、16歳以上が対象となるため高校生も含まれることから、学校や地域と連携した分かりやすい周知・啓発の強化が必要です。安全な交通環境づくりにつなげるため、北九州交通公園の積極的な活用など、実効性ある取り組みを求めます。